

## 雑巾プロジェクト 12

令和6年7月19日(金)

昨年度、和紙雑巾を使って土壌を活性化させたブルーベリー畑には大きなブルーベリーが実りました。収穫をし、ジャムかケーキを作り、美味しくいただこうかと計画中です。

何を作ろうか今からワクワクする生徒たちの様子が見られます。

もう1つの畑には、事務の方のご厚意でミニトマトや色々な種類のハーブが植えられています。こちらも立派なミニトマトがなりました。食べてみると「甘い」と声をそろえる生徒達、夏休みに入る前に収穫ができました。



## 雑巾プロジェクト11

令和6年8月18日(木)

春、家庭科の時間に裁縫をした和紙雑巾。

1学期の間、清掃等の時間に使用しました。今日は、1学期末の大掃除で普段は掃除できない窓や扉の枠や高い棚の上の清掃をしました。暑い中でしたが隅々までごみを取り、教室が明るくなりました。



## 雑巾プロジェクト10

令和6年5月30日(木)

今年度は、1学年全体で清掃等に使用する雑巾を和紙の雑巾に変えました。

和紙の雑巾は生分解し土に還るのでごみを減らすことができます。3年間の中学校生活の中で自分の暮らす地球のことを考え何か行動できるよう「初めの一歩」としてプロジェクトに取り組みます。

今回は和紙雑巾を制作するキュアグループの方にご来校いただき講義をしていただきました。



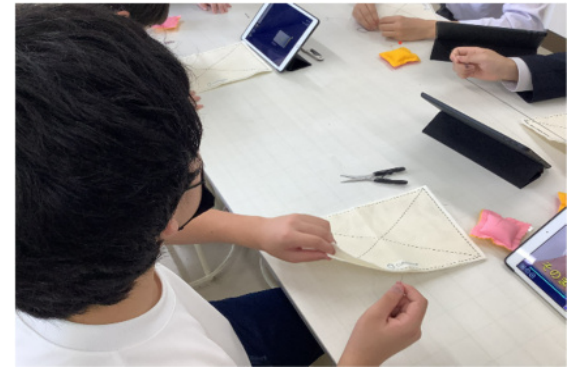


## 5組 雑巾プロジェクト9

令和6年4月30日(火)

5組では昨年度から引き続き雑巾プロジェクトを行っています。学校の雑巾を生分解される和紙の雑巾に変え、清掃活動等で使用します。ボロボロになり使えなくなったら和紙の雑巾を土に埋め肥料にします。資源を無駄にしない経験から昨年度は環境について様々なことを考え、学習することができました。

2年目の今年度は2つの企業からご協賛をいただき雑巾プロジェクトを行っています。今年度はミシンではなく手縫いで雑巾の裁縫をしました。



## 5組 雑巾プロジェクト8

令和6年4月26日(金)

2か月前に土に埋めた雑巾の観察を行いました。

「雑巾どうなっているかな」と度々気にしていた生徒達、ついに雑巾の様子が見られると嬉しそうにしていました。生分解が進みボロボロになった雑巾を見て驚く様子が見られました。

総合的な学習の時間に学習したSDGsのこと。そして、雑巾プロジェクトでの経験から環境への取り組みについて考えることができました。生徒の感想を紹介します。

雑巾のプロジェクト

雑巾の様子

雑巾を使って掃除を終えて、最初僕は雑巾は土に還らないと思っていた。だけど少し雑巾が土に還るのが楽しかったです。

雑巾プロジェクトを終えて感想

雑巾が分解された様子を見て、微生物がこんなにもすごいと知りませんでした。SDGsの作る責任、使う責任の意味が良く分かりました。



雑巾のプロジェクト

雑巾の様子

初めはざらざらしていて、木みたいな匂いがして埋めた後はやらかくなっていて、ぼそぼそ落ちてゆく感じ

雑巾プロジェクトを終えて感想

和紙の雑巾が自然に分解して戻っていくのは凄いと改めて実感しました。



雑巾のプロジェクト

雑巾の様子

ボロボロで紙より破きやすかった

雑巾プロジェクトを終えて感想

普通の雑巾だとゴミになるけど、この雑巾は埋めるだけで分解されるのでゴミが減るので、「もう雑巾これでいいじゃん」と思いました。



雑巾のプロジェクト

雑巾の様子

スコップで掘った時に手のひらサイズで、ビックリしました。改めて自然はすごいと思いました。

雑巾プロジェクトを終えて感想

プラスチックなど普段、自分達が使うものは土に還らないですが、自分たちが使うものを自然に優しい素材にすれば地球の環境がよくなると思いました。





## 5組 雑巾プロジェクト7

令和6年2月13日(月)

清掃活動で使い古した和紙の雑巾を5組畑に埋める作業を行いました。  
生分解されない縫い糸を丁寧に外し、生分解される和紙の部分のみを畑に埋めました。  
和紙からできた雑巾は、土に埋めると微生物による生分解で土に戻ります。  
また、微生物の活動により土壌が活性化し、土壌の活性化にもつながります。  
和紙の雑巾がどのように土に還っていくのかを楽しみにする生徒の様子が見られました。

### 生徒の感想

- ・雑巾が土になっていく様子を観察するのが楽しみ。
- ・雑巾が土に戻るなんて信じられない。
- ・本当に土になるかわくわくする。
- ・和紙の雑巾の触り心地が徐々に変わってきた。
- ・微生物が雑巾を食べるのを知った。
- ・雑巾が土になる様子を観察したい。



## 5組 雑巾プロジェクト6

令和5年12月22日(金)

年末の大掃除を行いました。

日本学校文化の雑巾がけ、そして日本の文化としてあるのが年末の大掃除です。

1年間の汚れを落とし、清々しい状態で新年を迎えます。

5組では、4月から使った教室や廊下を生徒たちが感謝の気持ちを込め、丁寧に掃除をする様子が見られました。

普段は時間をとって出来ないホワイトボードや窓の掃除を行いました。

教室が明るく綺麗になると気持ちも明るくなりますね。よい年を迎えられそうです。





## 5組 雑巾プロジェクト5

令和5年12月18日(月)

雑巾プロジェクトは、土壌で生分解される特殊な和紙雑巾を使ったプロジェクトです。

今回は、和紙雑巾を使い古した後に埋める畑の整地を行いました。

雑巾を埋め生分解後には土壌が微生物によって活性化します。そんな健やかな土壌で来年度以降、野菜を育てていきます。

寒さが厳しい中でしたが、これから野菜の収穫までのことを頭に浮かべながら生徒たちは作業に取り組みました。

### 生徒の感想

- ・寒い中農作業をしている人はすごいと思った。
- ・雑巾を土に還すのが楽しみ。
- ・本当に雑巾が土になるのか楽しみ。



## 5組 雑巾プロジェクト4

令和5年12月11日(月)

(株)キュアグループの方に来校して頂き、特別授業をしていただきました。

多年生植物からできた和紙や、その和紙からできた糸を目の前に、企業がSDGsに向けて取り組んでいることについて熱心に話を聞きました。

自分たちが使っているものをごみとせず資源として循環させることの大切さを学ぶことが出来ました。

### 生徒の感想

- ・和紙が生分解することを知ることができました。
- ・和紙の布が土にいれると生分解されるのを聞いて「すごい環境にいいな」と思った。
- ・自分の知らない色々なSDGsへの活動があることが知れてよかった。
- ・企業では和紙でできているネクタイやシャツなどの布を捨てずに土に埋めて再利用するのがいいなと思った。
- ・生分解の意味が知れた。
- ・企業の取り組みがとても面白いと思った。
- ・楽しそうな取り組みなので私もやってみたいと思った。
- ・今日の話聞いてもっとSDGsについて学びたいと思った。
- ・おしゃれするのが好きなので和紙でできた服を着て出かけたいと思った。

SEMINAR



多摩市立和田中学校  
特別授業

～企業と生活とSDGs～





## 5組 雑巾プロジェクト3

令和5年12月10日(金)

和紙の雑巾を使って清掃をしました。

普段の雑巾とは少し違う香りや肌触りがします。自分たちで裁縫した雑巾だけに掃除にも気持ちがのりますね。

いつもの清掃に加えて、念入りに床掃除をする姿が見られました。

### 生徒の感想

- ・木のような香りがする。
- ・一度水に濡らすとふわふわになった。
- ・普通のぞうきんより汚れが落ちる気がする。
- ・土に埋めるのでボロボロになるまで掃除で使いたい。
- ・和紙からできているが普通のぞうきんと同じように掃除ができるのに驚いた。
- ・紙からできているとは思えない。



## 5組 雑巾プロジェクト2

令和5年11月14日(火)

家庭科の授業で布を縫い雑巾の裁縫を行いました。  
掃除で使った後、学校の畑に埋め、土壌の活性化につなげます。

ミシンの作業では細かい作業をこなし、綺麗な雑巾ができあがりました。  
掃除で使うのが楽しみになりますね。

### 生徒の感想

- ・細かい作業が難しかった。
- ・雑巾が土になるなんて信じられない。楽しみだ。
- ・きれいにつくれてよかった。
- ・普段の雑巾と肌触りが違う。





## 5組 雑巾プロジェクトI

令和5年11月6日(月)

CURE 雑巾プロジェクトに取り組みます。

通常の雑巾を和紙繊維[CURETEX®]からできた雑巾に変えます。

CURETEX®は和紙からできた糸で、土壌に撒くと完全に生分解する素材です。

また、土壌改良効果もあります。

自分たちで作った雑巾で清掃をし、ボロボロになったら土に埋め肥料にします。

そして、その豊かな土壌で作物を育て資源を循環させます。

学校生活の中で循環型社会の在り方を身をもってする体験プロジェクトです。

